21世紀型スキル習得を目指した外国語教育：課題解決型プロジェクトを通して

キーワード　外国語教育／21世紀型スキル／地域貢献／課題解決型プロジェクト／協働作業

研究概要

情報技術がめまぐるしく発展している今日、21世紀を生きる上で必要な能力が21世紀型スキルといわれています。従来の言語教育とは異なり、地域貢献に志向した課題解決型教育（PBL）を実施することで、言語を道具として使用し、グローバルコミュニティで必要とされる21世紀型スキルを備えた人材が育成されると考えます。

本研究は、21世紀型スキルの習得を目指す外国語学習にPBLを取り入れ、その効果を検証します。コミュニティでの貢献活動においての言語習得効果を検証し、活動を効果的に実施するために必要なスキルを抽出します。それを基に21世紀型スキルの獲得に必要な外国語教育の指導方法と総合的能力評価方法を模索します。

学生の外国人住民へのインタビューの様子

（本研究は令和2～4年、平成29～31年日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）の助成を受けています）

今後の展開やメッセージ

今までは大学所在地の野々市市や近隣の市を対象にしておりましたが、学生との協働作業を実施していただける街や企業がありましたら是非、お気軽にお問い合わせください。

研究者情報・共同研究者

藤井 清美 教授・M.A.
基礎教育部　英語教育課程

研究者情報URL
https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/AHBAD.html
https://researchmap.jp/kfujii
https://www.kanazawa-it.ac.jp/prj/prj-chiiki_renkei/prj-renkei_nono_english/index.html

井ノ口 悦子 准教授・M.A.
基礎教育部　英語教育課程

研究者情報URL
https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/BBAHG.html
https://researchmap.jp/7000000618